

## 「第3回オープン！子ども・家庭大臣室」

～男女共同参画ヤングリーダー会議出席者代表との懇談～

### ■開催状況

- ・日時 平成19年11月20日(火)15:55～16:35
- ・場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区代々木神園町)
- ・出席者 男女共同参画ヤングリーダー会議出席者 6名  
上川陽子男女共同参画担当大臣  
竹林義久大臣官房審議官 他

### ■概況

平成19年11月19、20日の2日間、地域の若手リーダーとして更なる活躍が期待される男女約70名を全国各地から招いて「男女共同参画ヤングリーダー会議」が開催されました。この会議は、男女共同参画に関する施策の説明や意見交換等を行うことにより、各地域の若年層における男女共同参画社会づくりに向けての気運の醸成・意識の浸透を図り、全国各地における男女共同参画社会の形成に向けた取組を促進することを目的としています。

会議終了後に上川陽子大臣と会議出席者代表の方々との懇談の場を設け、男女共同参画の推進に関して意見交換を行いました。



懇談の様子

(大臣より)

- 男女共同参画を推進するためには、それぞれの地域で頑張ってもらい、地域の持ち味を生かし、生き生きと活動していただくことが大切です。
- 2日間にわたるヤングリーダー会議で班別討議した内容と併せて、国で考えてほしいことなどをお聞かせいただきたいと思います。

(出席者より)

- 自分は出産後離職していましたが、再チャレンジし、現在NPO法人で男女共同参画センターの管理・運営を行っています。  
班別討議では再チャレンジできない状況をどうしたらいいか話し合い、働き方・生き方が変わらなければ再チャレンジできないという話になりました。働きたい人が働ける世の中にしてほしいと思います。
- ママさんブラスバンドをやっています。出産後吹奏楽をやめる人が多いので、子ども連れでも参加できるように託児も行っています。国の男女共同参画施策は、働く母親対象のイメージが強いですが、社会的資源を持つ専業主婦の活動を後押しできればいいと思います。  
班別討議では、男女共同参画をどうやって広く訴えていくか、具体的に寸劇を作りました。
- 班別討議で、効果的な活動のあり方について話し合いました。男女共同参画という言葉はわかりにくく、男性は退きます。表現を変えてはどうかと思います。「自分らしい」、「大人、子ども、シニアにやさしい暮らし」などはどうでしょうか。  
また、男女共同参画に関心のない人をどう巻き込むか話し合いました。点で頑張っている人たちをつないで、線にしていきたいと思います。意思決定の場に女性が参画していくことが大事だという話になりました。
- 育児がきっかけで男女共同参画に関心を持ちました。  
班別討議ではワーク・ライフ・バランスの推進について話し合いました。ワーク・ライフ・バランスは、多様性を認め合うことから始まるのではないのでしょうか。「お互い様」ということが大事だと思います。



出席者の声に耳を傾ける大臣

- 町おこしのためにUターンし、フリーペーパーの発行やwebデザイナーなどをしています。  
班別討議では、啓発について話し合いました。男女共同参画という言葉は固いという意見があり、「ハッピー・バランス・コミュニケーション」など若い人の目をひくキャッチフレーズを考えたらいいのではないかという話になりました。若者世代に届くように考えてほしいと思います。  
昨日今日の研修で会った人とつながっていきたいと思います。
- 嫁ぎ先でいい嫁になるために頑張ってつらくなった時期があり、男女共同参画で自分らしく生きられると知ったとき、生きやすくなりました。  
自分の地域では、行政主体の事業であっても託児が行われていません。若い世代に伝えたくても伝えられない状況です。  
班別討議で、男女共同参画は目標ではなくツールだという話になり、そのとおりだと思いました。

(大臣より)

地域から皆さんの声があがってくることを大変うれしく思います。会議の成果を地元を持ち帰り、仲間に伝えてもらいたいと思います。そこからまた新たなスタートを切ることができると思います。

今回だけで終わるのはもったいないことなので、是非皆さんで、この会議のOB・OG会を立ち上げ、例えば1年後に集まって、どんな活動をしてきたかを話し合ってみたらと思います。孤立しないで、ネットワークでつながり続ける努力をしていただきたいと思います。



出席者のみなさんと一緒に

## ■大臣からのメッセージ

### ～男女共同参画ヤングリーダー会議出席者代表との懇談を終えて～

今回は、それぞれの地域の若手リーダーとして更なる活躍が期待される方々と意見交換をさせていただきました。

女性の再チャレンジや地域における男女共同参画の推進など、様々な課題について生の声をお聞きし、皆さんが熱意を持って取り組んでおられることが直に伝わってまいりました。私も元気をいただきましたし、今後の男女共同参画の推進に大いに参考になる大変有意義な懇談でした。

これからの活力ある地域社会を作っていくためには、男女共同参画の推進が必要であり、地域社会で活動されている方々の役割とともに、地域におけるネットワークの構築が大変重要であると考えております。今後とも、それぞれの地域のリーダーとして、男女共同参画社会づくりのために大きな力となっていただきたいと思います。願っております。

(以上)